

告 辞

学長 上野 正雄

新入生の皆さん、明治大学への入学、おめでとうございます。

今日、明治大学校歌に、白雲なびくと謳われている、ここ駿河台で、皆さんを明治大学の仲間として迎え入れることは本当に大きな喜びです。

また、これまで皆さんの成長を温かく見守り、支え、励まし、ときに背中を押してくださったご家族やご関係の皆様にも心よりお祝い申し上げます。明治大学で更に大きく成長していく学生達を、これからも見守ってください。

さて、大学は、知を探究する教員、それを支える職員、そして学びの中心にいる学生が集い、互いに高め合う場所です。

その根底には、明治大学が創立以来掲げる建学の精神——「権利自由、独立自治」があります。自己と他者一人ひとりの存在を尊重し、自主自律の判断で歩む個人を育てることで社会をより良いものにしていく。この旗印は、144 年間、一度も降ろされることなくかざし続けられてきました。

しかし、今、日本も含めて世界に目を向ければ、どうでしょうか。

戦争、差別、貧困、気候変動、情報の分断などなど、「権利自由、独立自治」が脅かされ、否定されている現実は、正にそこにあります。

だからこそ我々は創立者から託された使命。つまり、教育と研究を通じて、誰もが個として尊重される社会の実現に向けて前へ歩んで行かなければなりません。

皆さんも、今日、明治大学の仲間としてこの歩みに加わったのです。

その中で、この建学の精神を皆さん一人ひとりの力に変えてください。そのために欠かせないのが、多様性を受け入れ、活かす力です。

本学には全国各地、さらには世界 45 以上の国と地域から、多様な価値観や文化を持つ学生・教職員が集っています。

キャンパスの中では、10 学部大学院 16 研究科にわたる多彩な学びの場が皆さんを待っています。

キャンパスの外でも、サークル活動や地域交流、海外留学やボランティアなど、様々な舞台で新しい出会いが待っています。

そこには多様性の広大な海が広がっています。大切なことは、それらを単に知識として知ることではありません。互いの違いを受け入れ、理解し、判断し、自分の考えや行動に生かすことです。

異なる視点に触れたとき、最初は戸惑うかもしれません。しかし、その瞬間こそ成長の入口です。ぜひ怖れず飛び込み、議論し、共に笑い、時にはぶつかってください。

その経験が、皆さん一人ひとりの未来を切り拓く確かな力となります。

さらに来年 4 月から全学部生を対象にする副専攻プログラムが始まります。

これは、所属する学部の専攻に加え、異なる分野を体系的に学べる新しい制度です。

例えば、国際日本学部の学生が法学を学ぶ。あるいは、農学部の学生が国際関係を学び、文学部の学生が経営戦略を学ぶ——そんな多様性を備えた複眼的な学びが可能になります。

新しい視点に触れ、理解することは、自分の中に多様性を取り込み、複雑な社会課題にも多角的に挑む力を養うことにつながります。

まさに多様性の尊重を基礎に置く「権利自由、独立自治」の精神を体現する学びです。副専攻プログラムは、皆さんの知的好奇心を広げ、自らの可能性を広げる絶好の機会となるでしょう。ぜひ今から楽しみにしててください。

明治大学は、科学の探究と多様な交流の両輪で、皆さんを支えます。キャンパスでの数年間は、知識を得るだけでなく、自分の価値観を磨き、人間力を高め、仲間と未来を創る時間です。

144 年前、まだ 20 代だった三人の創立者は、自らの手で時代の壁を破るべく、覚悟を胸に、この大学をつくりました。その情熱のタスキは、時を超えて今も、皆さん一人ひとりに手渡されています。

どうか、大学生活の一日一日を大切にしてください。挑戦を恐れず、新しい知識、新しい人、新しい世界に出会ってください。そして、明治大学の一員として、自らの未来を切り拓くと同時に、日本と世界の未来を形づくる力を付けてください。

さあ、新入生の皆さん、ここからが出発です。困難に出会ったときこそ、胸を張ってください。迷ったときこそ、一歩を踏み出してください。その先には必ず、新しい景色と新しい仲間が待っています。明治大学の仲間とともに、笑い、学び、挑戦しながら、「前へ」進みましょう。

皆さんの勇気と挑戦に、心からの期待を込めて、学長告辞といたします。

入学、おめでとう！